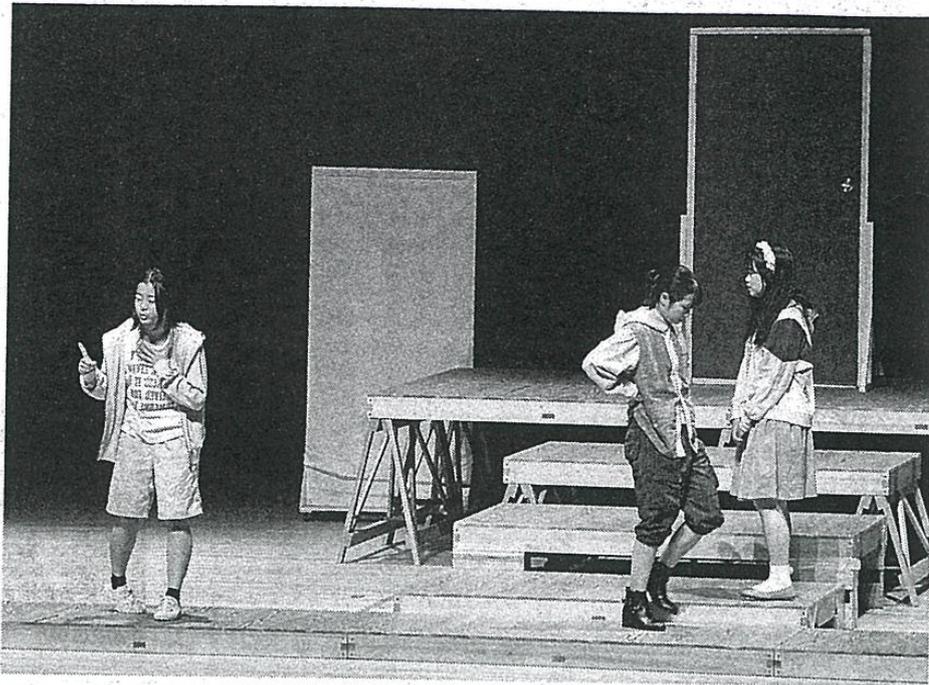




演劇部

庄内地区合同定期公演

3 高校演劇部 練習の集大成披露



合同定演「悔いがない」舞台晴れやか

庄内地区の高校演劇部に
よる合同定期公演が25、26
の両日、酒田市の希望ホー
ルで開かれ、酒田西高、鶴
岡中央高、酒田東高の演劇
部員たちがこれまでの集大
成となる劇を披露した。
庄内地区高校演劇協議会

酒西、鶴中央、酒東
希望ホール飾る

の主催。部員相互の交流を
深め、文化活動の活性化や
技術の向上を目的に199
6年から行われており、3
年生にとって「引退公演」
となっている。

両日とも保護者や同級生
を中心に市内外から観客が
詰め掛けた。
酒田西（後藤
紗来部長）は
色にまつわる
7つのシヨー
トストーリー
を集めた「三
原色」を上演。
コメディ、
ファンタジ
ィ、ホラー、
サスペンスな
ど多様なジャ
ンルを上演
し、最後に登
酒田東高の劇
の一場面26
日、希望ホー
ル

場した画家が全てのストー
リーをまとめ上げた。
鶴岡中央（菅原渚部長）
は過去・現在・未来が交錯
する演劇部の一日を巡る「あ
どいぶらま〜らぶ〜」で、
何気ない日常の部活風景を
披露。酒田東（佐藤瑛心部
長）は記憶を失ってしまっ
た女子高生・ユメナと友人
たちとの葛藤を描いた「M
arble〜マール〜」で、
人間関係や思いに揺れる感
情を表現した。
「三校三様」の劇に観客
らは引き込まれ、公演後、
惜しめない拍手を送った。
部長たちは晴れやかな笑顔
で「悔いのない公演ができ
た」と。後藤部長は「いま
まで一番深みのある練習が
重ねられた」、菅原部長は
「自分たちの劇がお客さん
に伝わったと思えて良かつ
た」、佐藤部長は「これか
らの後輩たちにも演劇を楽
しんでほしい」とそれぞれ
話した。